

株式会社4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2025 年 10 月 10 日

(証券コード:8008 東証プライム市場)

2026 年 2 月期第 2 四半期(中間期)決算概要

- ・ 連結業績は、4 期連続増収、営業利益および中間純利益は 2 期ぶりの増益。
- ・ ブランド事業は、(株)羅針の業績貢献により大幅な増収増益。FDC プロダクツグループにおいては、マーチャンダイジング(MD)改革を継続。
- ・ アパレル事業は、デイリーファッション「パレット」の出店効果や既存店の伸長、アスティグループの主力取引先からの受注拡大により増収増益を達成。
- ・ 株主還元方針として、DOE(株主資本配当率)4%以上を目安に、安定的・継続的な配当の実施と自己株式の取得により、総還元性向の水準向上に努める。年間配当は 83 円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2026 年 2 月期中間期決算(2025 年 3 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況

(百万円、%)	2025 年 2 月期 中間期	2026 年 2 月期 中間期	前年同期比
売 上 高	19,460	32,474	+66.9%
営 業 利 益	835	1,124	+34.6%
経 常 利 益	1,048	1,310	+24.9%
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	671	781	+16.3%

1 株当たり中間純利益 36 円 41 銭(前年同期 31 円 32 銭)

期中平均株式数(連結) 21,470,426 株

のれん償却前営業利益 2026 年 2 月期中間期 1,748 百万円(前年同期 1,083 百万円)

流通業界におきましては、堅調な株価を背景に富裕層の高額品需要が拡大する一方、中間層では実質賃金の減少による節約・低価格志向が根強く、消費の二極化が続いております。

その結果、当中間期の売上高は 324 億 74 百万円(前年同期比 66.9%増)、営業利益は 11 億 24 百万円(前年同期比 34.6%増)、経常利益は 13 億 10 百万円(前年同期比 24.9%増)、中間純利益は 7 億 81 百万円(前年同期比 16.3%増)となりました。

本 社 : 東京都品川区上大崎二丁目 19 番 10 号
設 立 : 1950 年 5 月
資 本 金 : 24 億 8,652 万円
事 業 内 容 : 「4°C」を中心としたジュエリーSPA 及び高級ブランド時計のリユース販売を行うブランド事業、アパレル OEM・ODM 及びデイリーファッション「パレット」をチェーン展開するアパレル事業
ウェブ サイト : <https://yondoshi.co.jp/>
問 い 合 わ せ 先 : (株)4°Cホールディングス 経営企画室
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-4462
e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

■ブランド事業

売上高 198 億 48 百万円（前年同期比 176.9%増）

営業利益 8 億 93 百万円（前年同期比 133.5%増）

ジュエリーSPA事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、将来を見据えた「4℃」のマーチャндаイジング(MD)改革の推進や価格政策の見直しに引き続き取り組んでおります。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける(株)羅針では、盤石な財務基盤を活かした商品ラインアップの拡充や、新宿店の出店効果に加え、既存店の順調な伸長により、売上高が拡大いたしました。

■アパレル事業

売上高 126 億 25 百万円（前年同期比 2.7%増）

営業利益 7 億 91 百万円（前年同期比 12.3%増）

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、既存店の伸長や新店効果と増床により、売上高が堅調に推移いたしました。

また、アスティグループにおいては、海外生産基盤を強みに、主力取引先からの受注が拡大し、売上高・利益ともに増加いたしました。

2) 通期の連結業績見通し

（百万円、%）	2025 年 2 月期 （実績）	2026 年 2 月期 （予想）	前期比
売 上 高	45,902	66,000	+43.8%
営 業 利 益	1,960	2,800	+42.8%
経 常 利 益	2,351	3,150	+33.9%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,377	1,600	+16.2%

1 株当たり予想当期純利益（通期）74 円 52 銭
期中平均株式数（連結）21,470,426 株
のれん償却前 E P S 132 円 70 銭

2026 年 2 月期の連結業績予想につきましては、2025 年 4 月 11 日に公表した値から変更はありません。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期の配当

年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期	—	41.50	—	41.50	83.00
当 期	—	41.50			
当 期（予想）			—	41.50	83.00

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけております。その基本方針として、安定的かつ継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を通じて、総還元性向の水準向上に努めてまいります。また、株主還元を測る重要な指標としてDOE 4%以上を目標に掲げ、将来的には1株当たり年間配当100円の実現を目指しています。

こうした方針のもと、2026年2月期の配当については、中間・期末ともに1株あたり41円50銭、年間で83円を予定しております。

以上